

ベートーヴェン・プロジェクト始動!

カルテット

アリーナ・イブラギモヴァ率いる、新時代の弦楽四重奏

CHIAROSCURO QUARTET

キアロスクーロ・カルテット

ガット弦が刻む、光と影のドラマ

オール・
ベートーヴェン・
プログラム

ALL BEETHOVEN PROGRAM

弦楽四重奏曲 第5番 イ長調 op.18-5

String Quartet No.5 in A major, op.18-5

弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 op.132

String Quartet No.15 A minor, op.132

チェロ

クレール・ティリオン

ヴァイオリン

シャルロット・サルスト=ブリドゥ

ヴァイオリン

アリーナ・イブラギモヴァ

ヴァイオラ

エミリエ・ヘーンレント

©Joss Mckinley

2026. **7/5** 日 2:00PM開演 (1:30PM開場) **兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール**
A ¥5,500 B ¥4,500 (税込/全席指定) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)

一般発売

4/19

日

芸術文化センター
チケットオフィス

0798-68-0255

(10:00AM - 5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

インターネット予約

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

※窓口での販売(残席がある場合)は4/21(火)より

芸術文化センター会員
先行予約受付開始

4/17

金

※未就学児童はご入場いただけません。
※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる
場合があります。あらかじめご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

18世紀の光を宿し、現代の闇を照らす音像



©Joss Mckinley

芸術文化センターでも大人気、世界のトップ・ヴァイオリニストのひとり、アリーナ・イブラギモヴァ率いる若き4人組が芸術文化センター4度目の登場です。

特筆すべきは、ガット弦とピリオド楽器を使用した、歴史的奏法による独特な音色。モダン楽器と異なる、より軽く、甘い音色と、楽譜の細部まで緻密に分析された知的で新鮮な解釈によって、聴き慣れた作品であっても、まるで初めて聴くかのような驚きと発見を与えてくれます。

今回のプログラムは、2027年のベートーヴェンイヤー(没後

200年)を見据え、彼女たちが改めて始動したプロジェクトの一環であり、ベートーヴェンの初期と後期の作品を並べたもの。第5番はモーツァルトの弦楽四重奏第18番をオマージュしているといわれ、躍動感と優雅さを備えています。かたや第15番は、ベートーヴェンが重病から回復した直後に作曲されたため、深い精神性と、死の淵から生還した喜び、感謝に満ちた傑作です。ベートーヴェンの新たな一面を感じる、瑞々しく鮮烈なアンサンブルにご期待ください。

キアロスクーロ・カルテット

CHIAROSCURO
QUARTET

- アリーナ・イブラギモヴァ [ヴァイオリン]
Alina Ibragimova, violin
- シャルロット・サルスト=ブリドウ [ヴァイオリン]
Charlotte Saluste-Bridoux, violin
- エミリエ・ヘーンルント [ヴィオラ]
Emilie Hörnlund, viola
- クレール・ティリオン [チェロ]
Claire Thirion, cello

ヒストリカルで新鮮なアプローチをガット弦で演奏するキアロスクーロ・カルテットは2005年に結成。そのしなやかで優雅でダイナミックな演奏は、並外れたユニークな音色だけでなくアンサンブルに知性ある姿を兼ね備え、ヨーロッパの聴衆から高い評価を受けている。

近年の主な活動は、エジンバラ国際音楽祭のデビュー、2013年プレーメン音楽祭を共催しているドイツのラジオ放送局の激励賞を受賞。2015年6月ウィーン・コンツェルトハウスのデビュー、この他ロンドンのウイグモア・ホール、ヨーク古楽センター、パリのルーヴル・オディトリウム、エクサン=プロバンスのジュ・ドゥ・ポーム劇場、リスボンのグルベンキアン財団、オールドバラ音楽祭等で演奏。また2016年、初めての日本ツアーで東京、神奈川、兵庫で演奏会を行う。2017/2018シーズンでは、イギリスのエジンバラ音楽祭、スネイブ(サーフォーク州)、ロンドン、ヨークで、またケルン、ザルツブルク、リスボン、スイス・グシュタードのメニューイン音楽祭で演奏、2019/20シーズンでは、ロンドンのウイグモア・ホールとキングス・プレイス、ベルリンのブーレーズ・ザールのデビュー、ボンのベートーヴェン・ハウスでのベートーヴェンの弦楽四重奏曲の演奏の他、ルクセンブルク、リスボン、ワルシャワ等ヨーロッパ中の会場や音楽祭で演奏。2022/2023シーズンのハイライトは、ロンドンのウイグモア・ホール、ベルリンのブーレーズ・ホールでの再演の他、北米ツアーで、ボストンのジョージアン・ホールを含むプリンストン、サンフランシスコ、バンクーバー、モントリオールの各都市で公演を行う。

2016年、スウェーデンのBISレーベルと録音契約を結び、ハイドン弦楽四重奏曲作品20/1-3をリリース、続いて2017年ハイドン弦楽四重奏曲作品20/4-6をリリースして「太陽四重奏曲」を完結する。2018年シュベルト弦楽四重奏曲第14番「死と乙女」をリリース。2020年ハイドンの弦楽四重奏曲作品76をリリース、2021年ベートーヴェン弦楽四重奏曲集作品18の1番~3番を、2022年ベートーヴェン弦楽四重奏曲集作品18の4番~6番をリリース。最新の録音は、2025年ハイドンの弦楽四重奏曲作品33「ロシア四重奏曲」第4番、第5番、第6番をリリース。

これまで室内楽でトレヴァー・ピノック、クリスティアン・ベズイデンホウト、セドリック・ティベルギアン、ジョナサン・コーエン、マルコム・ビルソン、チェロのクリストフ・コワンとクリスティアン・ポルテラと共演。

2009年からポール・ロワイヤル修道院のレジデントとしてモーツァルト弦楽四重奏曲のチクルスを行っている。



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

